



6月のほけんだより

令和7年6月1日発行
土淵保育園

こども未来局
保育・子育て推進部

梅雨の季節になりました。湿度・温度ともに高くなり、また天気が変わりやすいこの時期は、もっとも体調を崩しやすい時期でもあります。熱中症の危険も高まりますので、水分補給と体調管理に気をつけましょう。

6月4日虫歯予防デー

どうして虫歯になるの？

歯の質・糖質・菌・食べる時間の条件が重なった時に、虫歯になります。歯の質は遺伝的な要素もあり、変えることはできませんが、それ以外の要因は、正しい習慣を身につけることで防ぐことができます。



【こどもの歯について】

- 乳歯は6か月位から生え始める
- 3歳ころには20本の歯が生えそろう
- 永久歯は、下の前歯や6歳臼歯が、6歳ころから生え始める

【歯や口の機能】

- 食べる（咀嚼）：歯の形はそれぞれの働きに応じた形
- 話す（発音）：歯と舌で構音（さしすせそ、らりるれろ）
- 顔の形を作る：表情をつくる
- 口をボカンと開けているのは口の筋肉が弱いため

【よく噛むことの重要性】

- 食べ物が栄養分として、消化吸収されやすくなる
- 唾液がたくさん出て、口の中がきれいになる
- 満腹感を得ることができる



【虫歯予防のポイント】

- ①歯みがきの習慣をつける
- ②栄養バランスのよい食事を食べる
- ③規則正しい生活習慣
- ④定期的に歯科健診

6月12日（木）9：30より 園医健診

- ・対象：ひよこ組、りす組、ぱんだ組、そう組の診察
- ・全園児の相談

6月10日（火）9：30より 歯科健診

- 詳細は各クラスの掲示板でお知らせいたします。
- 歯科健診医 小林 伸 先生が来園します。
*ご相談がある保護者の方はお知らせください。
- お休みの予定のある方は、担任や看護師へお知らせください。



5月 土淵保育園では…

- 溶連菌感染症 1件
- 水痘（水ぼうそう） 1件
- 感染性胃腸炎（嘔吐や下痢） 9件

これから夏かせ（ヘルパンギーナ、手足口病、咽頭結膜熱など）の流行期となります。

川崎市では今年4月から百日咳の報告が急増しています。全国的に大人の感染も増加しているため、咳が長く続く場合は医療機関を受診しましょう。

清水園医より、「小学生の水痘（水ぼうそう）の感染者数が増えているため、保育園でも注意するように。」とアドバイスがありました。

予防接種で重症化リスク

を下げられるため、

かかりつけ医と

相談して計画的

に受けましょう。



虫よけスプレーの使用について

子どもは、虫刺されからとびひ（伝染性膿痂疹）になることが多く、蚊が媒介する感染症はデング熱、日本脳炎、マラリア、ジカウイルス感染症など、ニュースでもよく取り上げられるものです。戸外活動時は、市販の虫よけスプレーを使用します。初めて使用するのがご心配な方は、保育園で試すことができますのでお知らせください。